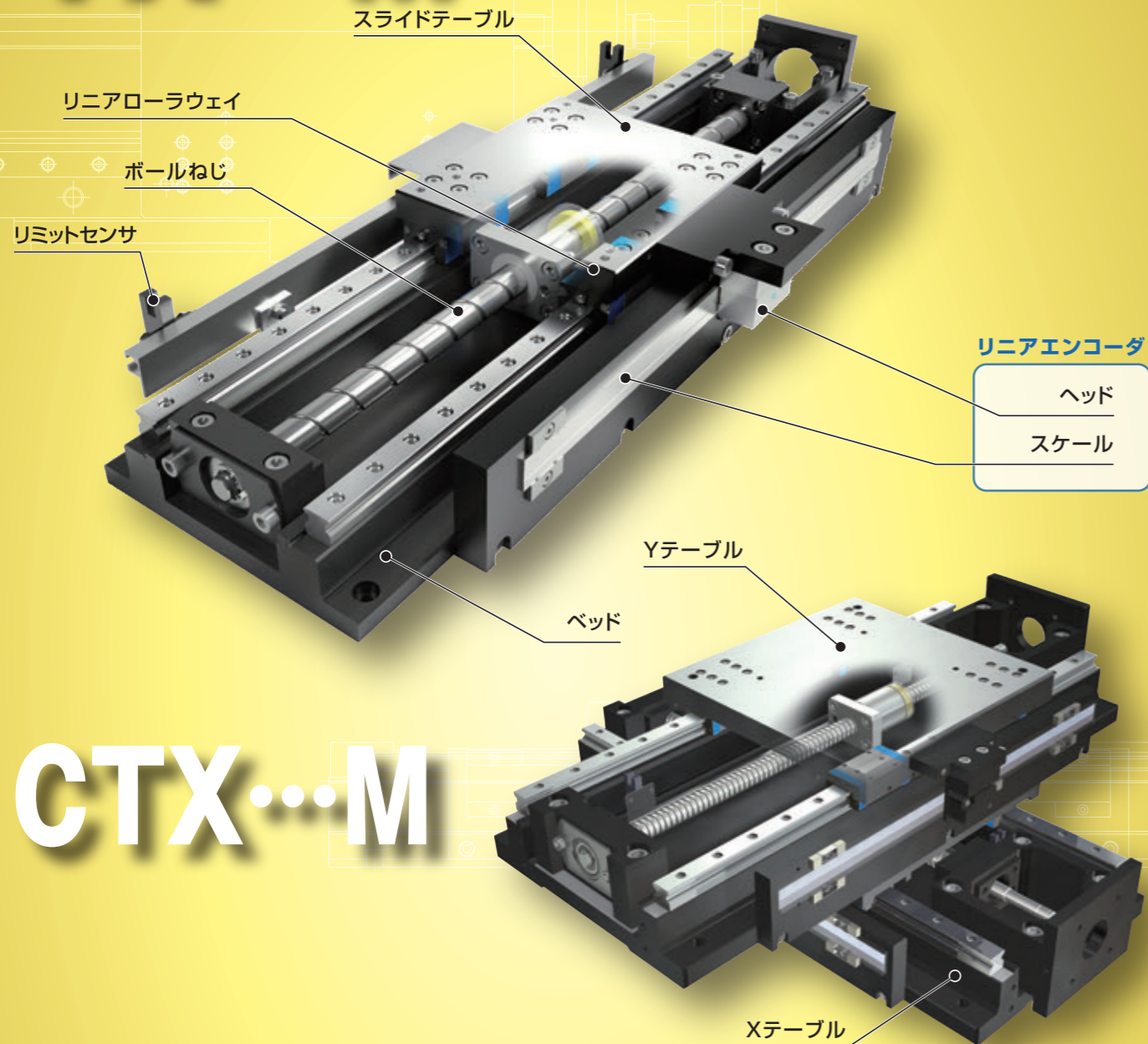


**TX...M**  
**CTX...M**

TX...M • CTX...M

# TX...M



# CTX...M

## 主な製品仕様

駆動	精密ボールねじ
直動案内機器	リニアローラウェイ(ローラタイプ)
潤滑部品の内蔵	潤滑部品「Cループ」内蔵
テーブル・ベッドの材質	鋳鉄
センサ	標準装備

## 精度

繰返し位置決め精度	±0.0005~0.0010
位置決め精度	0.003~0.020
ロストモーション	0.001
テーブル運動の平行度A	0.005~0.011
テーブル運動の平行度B	-
姿勢精度	5~11 秒
真直度	0.003~0.008
バックラッシュ	-

単位 mm

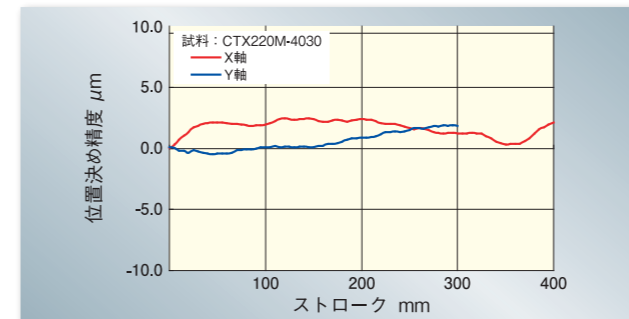
# Points

## ● 転がり案内方式で究極の高精度テーブル

高精度・高剛性な精密位置決めテーブルLHをベースに、究極の転がり案内CループリニアローラウェイスーパーXを組み込み、各部精度を徹底的に追求し、エアステージに迫る位置決め精度を実現した位置決めテーブルです。

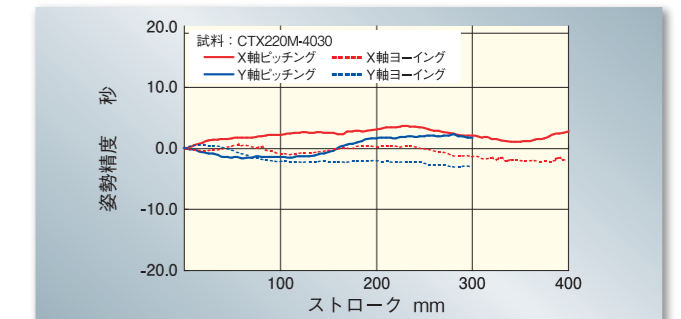
## ● 超高精度リニアエンコーダの搭載により高い位置決め精度と分解能を実現

超高精度リニアエンコーダから位置情報をダイレクトにフィードバックすることによりフルクローズドループ制御を構成し、ストローク全域の位置決め精度を保証しています。



## ● ローラタイプ直動案内機器の採用で究極の走行性能を実現

高精度に加工・組付けされた構成部品と、転がり案内で最高レベルの走行性能を発揮するCループリニアローラウェイスーパーXを組み合わせているので、究極の走行精度が得られます。



## ● アbsolute型リニアエンコーダの選択が可能

リニアエンコーダは、Absolute型とインクリメンタル型の選択ができます。Absolute型は原点復帰が不要で高分解能と高速移動の両立が可能です。

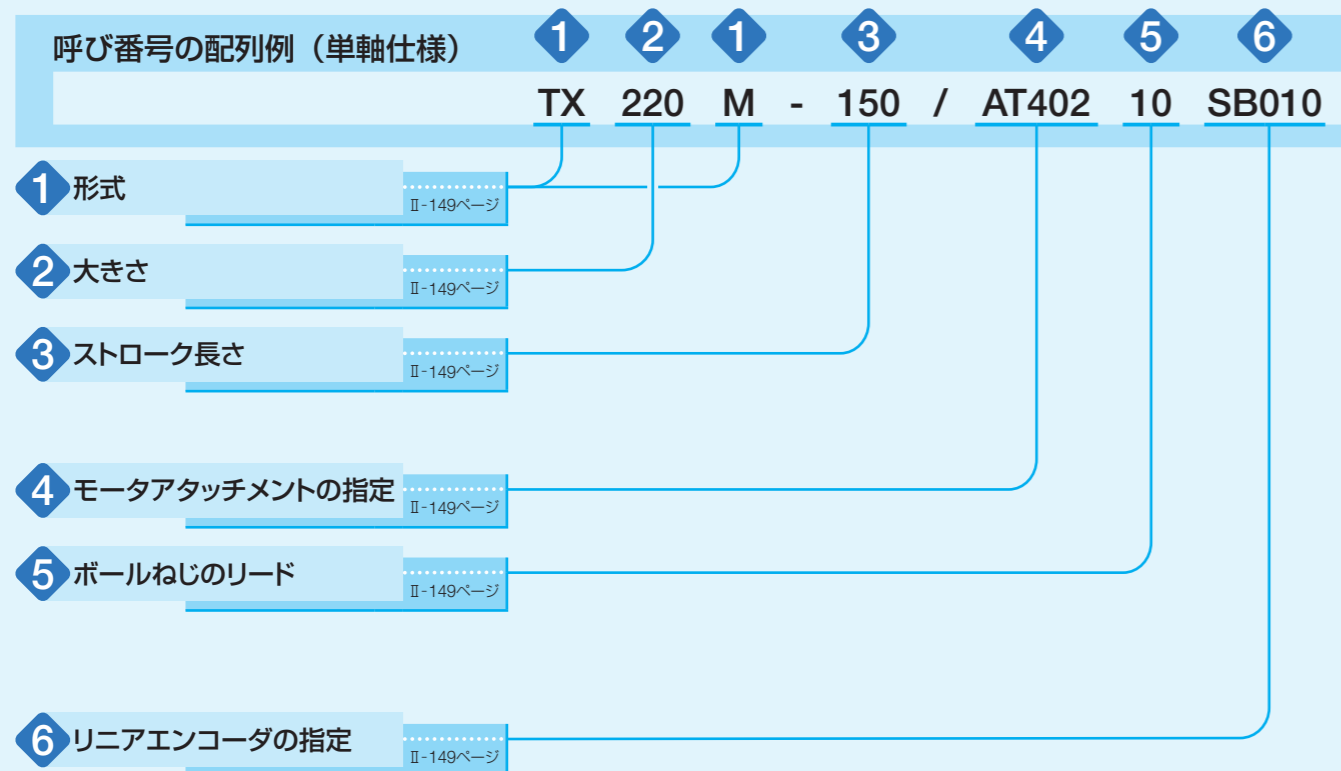
## ● シンプルなシステム構成が可能

エアステージのようにエア供給装置などは不要なので、システム構成がシンプルとなり、省スペースや装置コストの削減が可能です。

## バリエーション

形状	形式と大きさ	テーブル幅寸法 (mm)	ストローク長さ (mm)								
			100	150	200	250	300	400	500	600	800
	TX120M	120	☆	☆	☆	☆	☆	-	-	-	-
	TX220M	220	-	☆	☆	☆	☆	☆	-	-	-
	TX320M	320	-	-	-	-	☆	☆	☆	-	-
	TX420M	420	-	-	-	-	-	-	☆	☆	☆

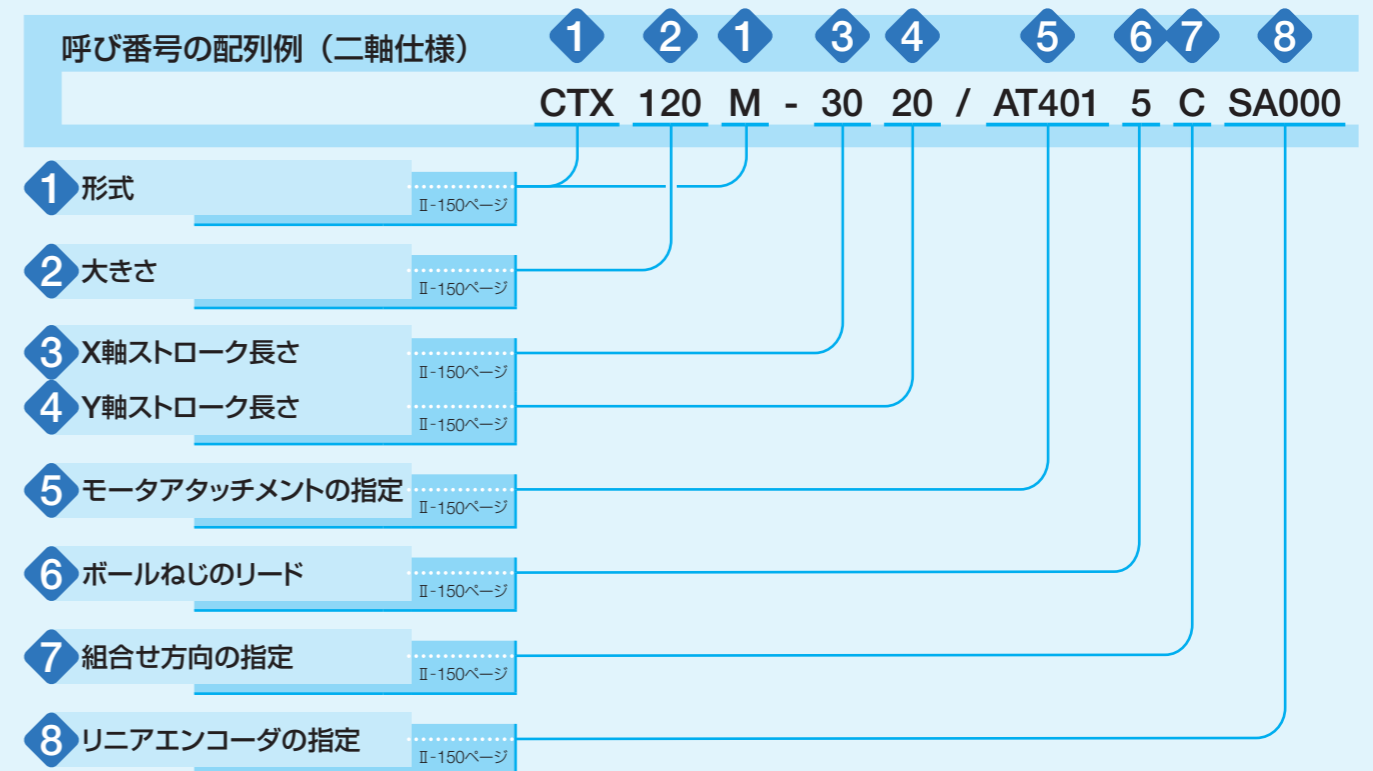
## 呼び番号



## 呼び番号と仕様の詳細

1 形式	TX…M：高精度位置決めテーブルTX（単軸仕様）
2 大きさ	大きさは、テーブル幅寸法を示しています。 表1に示す大きさから選択します。
3 ストローク長さ	表1に示すストローク長さから選択します。
4 モータアタッチメントの指定	モータアタッチメントは表3より選択します。 ・モータはお客様にてご用意いただけます。 ・ご使用になるモータに適用するモータアタッチメントをご指定ください。 ・表4に示すカップリングが本体に取付けられて出荷されます。ただし、仮固定となっておりますので、最終位置調整はお客様にて行ってください。
5 ボールねじのリード	5：リード 5mm 10：リード10mm
6 リニアエンコーダの指定	リニアエンコーダは表5より選択します。 リニアエンコーダなしの場合は記号：S0000選択してください。 ・ステッピングモータ用アタッチメントを指定する場合は、S0000としてください。 ・表3に記載以外のモータをご使用される場合は、IKOにお問い合わせください。

## 呼び番号



## 呼び番号と仕様の詳細

1 形式	CTX…M：高精度位置決めテーブルTX（二軸仕様）
2 大きさ	大きさは、テーブル幅寸法を示しています。 表2に示す大きさから選択します。 異なる大きさのテーブルを組み合わせることも可能です。
3 X軸ストローク長さ	表2に示すストローク長さから選択します。
4 Y軸ストローク長さ	それぞれの軸のストローク長さをcm単位で表示します。X、Y軸で異なる長さを指定できます。
5 モータアタッチメントの指定	モータアタッチメントは表3より選択します。 ・モータはお客様にてご用意いただけます。 ・ご使用になるモータに適用するモータアタッチメントをご指定ください。 ・表4に示すカップリングが本体に取付けられて出荷されます。ただし、仮固定となっておりますので、最終位置調整はお客様にて行ってください。
6 ボールねじのリード	5：リード 5mm 10：リード10mm
7 組合せ方向の指定	無記号：正方向 C：逆方向  正方向：X軸モータ側を手前にして、Y軸モータ側が右になる組合せの方向。 逆方向：X軸モータ側を手前にして、Y軸モータ側が左になる組合せの方向。 CTX220MにてY軸ストローク長さ200mmを選択した場合は無記号としてください。
8 リニアエンコーダの指定	リニアエンコーダは表5より選択します。 リニアエンコーダなしの場合は記号：S0000選択してください。 ・ステッピングモータ用アタッチメントを指定する場合は、S0000としてください。 ・表3に記載以外のモータをご使用される場合は、IKOにお問い合わせください。

## 呼び番号と仕様の詳細

表1 TXの大きさとストローク長さ

形式と大きさ	テーブル幅寸法 mm	ストローク長さ mm
TX120M	120	100、150、200、250、300
TX220M	220	150、200、250、300、400
TX320M	320	300、400、500
TX420M	420	500、600、800

表2 CTXの大きさとストローク長さ

形式と大きさ	テーブル幅寸法 mm	ストローク長さ mm	
		X軸	Y軸
CTX120M	120	100	100
		200	100
		200	200
		300	200
CTX220M	220	200	200
		300	200
		300	300
		400	300

表3 モータアタッチメントの適用

種類	使用モータの形式				フランジ角 mm	モータアタッチメント			
	メーカー	シリーズ	形式	定格出力 W		TX120M CTX120M	TX220M CTX220M	TX320M	TX420M
ACサーボ モータ	(株)安川電機	Σ-7	SGM7A-02A	200	□60	AT401	—	—	—
			SGM7A-04A	400		—	AT402	—	—
			SGM7A-06A	600		—	—	AT403	—
			SGM7A-08A	750		—	—	—	AT404
	三菱電機(株)	J4/J5	HG-KR23/HK-KT23W	200	□60	AT401	—	—	—
			HG-KR43/HK-KT43W	400		—	AT402	AT403	—
			HG-KR73/HK-KT7M3W	750		—	—	—	AT404
	パナソニック(株)	MINAS A6	MSMF02	200	□60	AT405	—	—	—
			MSMF04	400		—	AT406	AT407	—
			MSMF08	750		—	—	—	AT408
ステッピング モータ	オリエンタル モーター(株)	αステップ	ARM66	□60	AT409	—	—	—	
			ARM69		AT409	—	—	—	
			ARM98		—	AT411	AT412	—	
			ARM911		—	AT411	AT412	—	
		RKS	RKS56	□60	AT409	—	—	—	
			RKS59	□85	—	AT411	AT412	—	

備考 モータの詳細仕様は、各モータメーカーのカタログをご参照ください。

表4 カップリングの形式

モータアタッチメント	カップリングの形式	メーカー	カップリングのイナーシャ $J_c$ $\times 10^{-5} \text{kg} \cdot \text{m}^2$
AT401	RA-30C- 8×14	(株)酒井製作所	0.281
AT402	RA-35C-12×14	(株)酒井製作所	0.847
AT403	RA-35C-14×15	(株)酒井製作所	0.847
AT404	RA-40C-15×19	(株)酒井製作所	1.365
AT405	RA-30C- 8×11	(株)酒井製作所	0.281
AT406	RA-35C-12×14	(株)酒井製作所	0.847
AT407	RA-35C-14×15	(株)酒井製作所	0.847
AT408	RA-40C-15×19	(株)酒井製作所	1.365
AT409	RA-26C- 8×10	(株)酒井製作所	0.164
AT411	RA-35C-12×14	(株)酒井製作所	0.847
AT412	RA-35C-14×15	(株)酒井製作所	0.847

備考 カップリングの詳細仕様は、メーカーのカタログをご参照ください。

表5 リニアエンコーダの記号

リニアエンコーダの種類	記号	対応ACサーボモータ	分解能 [μm]	リニアエンコーダ形式	
リニアエンコーダなし	S0000	—	—	—	
インクリメンタル型 リニアエンコーダ	SA000	(株)安川電機製Σ-7	可変	ハイデンハイン(株)製LIF181R	
	SC000		可変	レニショー(株)製TONiC	
	SB010	三菱電機(株)製J4 <sup>(1)</sup> および パナソニック(株)製 MINAS A6	0.01	ハイデンハイン(株)製LIF181R	
	SB020		0.02		
	SB040		0.04		
	SB050		0.05		
	SB100		0.1		
	SB200		0.2		
	SD010		0.01	レニショー(株)製VIONiC	
	SD020		0.02		
	SD040		0.04		
	SD050		0.05		
	SD100	0.1			
	SD200	0.2			
アブソリュート型 リニアエンコーダ	SE050	(株)安川電機製Σ-7	0.05		レニショー(株)製RESOLUTE
	SF050	三菱電機(株)製J4	0.05		
	SG050	パナソニック(株)製 MINAS A6	0.05		

注<sup>(1)</sup> ドライバは、MR-J4-\*\*\*-RJをご用意ください。

備考1. SA000、SC000の分解能の可変の詳細は表7をご参照ください。

2. リニアエンコーダの仕様は表11をご参照ください。

## 諸特性

表6 精度

形式と大きさ	ストローク長さ		繰返し 位置決め精度	位置決め精度	ロスト モーション <sup>(1)</sup>	テーブル運動 の平行度 A	姿勢精度 <sup>(2)</sup> 秒	垂直真直度 水平真直度	XY運動の 直角度
	X軸	Y軸							
単軸仕様	TX120M	100	±0.0005 (±0.001)	0.003 (0.006)	0.001	0.005	5	0.003	—
		150							
		200							
		250							
	TX220M	150	±0.0005 (±0.001)	0.003 (0.006)	0.001	0.005	5	0.003	—
		200							
		250							
		300							
	TX320M	300	±0.0005 (±0.001)	0.004 (0.008)	0.001	0.006	6	0.004	—
		400							
		500							
		500							
TX420M	500	±0.0005 (±0.001)	0.005 (0.013)	0.001	0.007	7	0.005	—	
	600								
	800								
	800								
二軸仕様	CTX120M	100	±0.0005 (±0.001)	0.005 (0.007)	0.001	0.008	8	0.005	0.005
		200							
		200							
		300							
	CTX220M	200	±0.0005 (±0.001)	0.006 (0.010)	0.001	0.009	9	0.006	0.005
		300							
		300							
		400							

注<sup>(1)</sup> リニアエンコーダなしの時はバックラッシュの値を示します。

<sup>(2)</sup> ピッチング及びヨーイングを示します。

備考 ( ) 内はリニアエンコーダなしの時の値を示します。

表7 株式会社川電機製モータ使用時の最高速度（インクリメンタル型リニアエンコーダ付きの場合）

リニアエンコーダの指定	分解能 μm/pulse	最高速度 mm/s		リニアエンコーダ	シリアル変換ユニット <sup>(1)</sup>
		リード 5mm	リード 10mm		
SA000	0.0156	62.5	62.5	ハイデンハイン <sup>(株)</sup> LIF181R	株式会社川電機製 JZDP-H003-000
	0.0312	125	125		
	0.0625	250 (224)	250 (224)		
	0.125		500 (448)		
	0.250				
0.500					
SC000	0.0781	250 (224)	312.5	レニショー <sup>(株)</sup> TONiC	株式会社川電機製 JZDP-H005-000
	0.156		500 (448)		
	0.312				
	0.625				
	1.25				
2.5					

注<sup>(1)</sup> シリアル変換ユニットが付属します。

備考1. ( ) 内の値はTX320M及びTX420Mに適用します。

2. 実際の最高速度は負荷条件などに応じて変わります。

3. 最高速度を変更する場合はドライバの電子ギア設定により分解能を変更してください。

表8 三菱電機<sup>(株)</sup>・パナソニック<sup>(株)</sup>製モータ使用時の最高速度（インクリメンタル型リニアエンコーダ付きの場合）

リニアエンコーダの指定	分解能 μm/pulse	最高速度 mm/s		リニアエンコーダ	リニアエンコーダ 信号変換ユニット <sup>(1)</sup>
		リード 5mm	リード 10mm		
SB010	0.01	40 <sup>(2)</sup>	40 <sup>(2)</sup>	ハイデンハイン <sup>(株)</sup> LIF181R	ハイデンハイン <sup>(株)</sup> IBV3271 100F <sup>(1)</sup>
SB020	0.02	80 <sup>(2)</sup>	80 <sup>(2)</sup>		ハイデンハイン <sup>(株)</sup> IBV3271 50F <sup>(1)</sup>
SB040	0.04	160 <sup>(2)</sup>	160 <sup>(2)</sup>		ハイデンハイン <sup>(株)</sup> IBV3271 25F <sup>(1)</sup>
SB050	0.05	200 <sup>(2)</sup>	200 <sup>(2)</sup>		ハイデンハイン <sup>(株)</sup> IBV3271 20F <sup>(1)</sup>
SB100	0.1	250 (224)	400 <sup>(2)</sup>		ハイデンハイン <sup>(株)</sup> IBV3171 10F <sup>(1)</sup>
SB200	0.2	250 (224)	500 (448)	ハイデンハイン <sup>(株)</sup> IBV3171 5F <sup>(1)</sup>	
SD010	0.01	40	40	レニショー <sup>(株)</sup> VIONiC	
SD020	0.02	80	80		
SD040	0.04	160	160		
SD050	0.05	200	200		
SD100	0.1	250 (224)	400		
SD200	0.2	250 (224)	500 (448)		

注<sup>(1)</sup> 分解能に対応するリニアエンコーダ信号変換ユニット（ハイデンハイン<sup>(株)</sup>）が付属します。

注<sup>(2)</sup> リニアエンコーダ信号変換ユニットの最高応答周波数の許容値が±5%のため、最高速度が5%低下する場合があります。

備考1. ( ) 内の値はTX320M及びTX420Mに適用します。

2. 実際の最高速度は負荷条件などに応じて変わります。

3. 付属のリニアエンコーダ信号変換ユニットは、分解能ごとに形番が設定されているため、分解能の変更はできません。

表9 株式会社川電機製・三菱電機<sup>(株)</sup>・パナソニック<sup>(株)</sup>製モータ使用時の最高速度（アブソリュート型リニアエンコーダ付きの場合）

リニアエンコーダの指定	分解能 μm/pulse	最高速度 mm/s		リニアエンコーダ	リニアエンコーダ 信号変換ユニット
		リード 5mm	リード 10mm		
SE050	0.05	250 (224)	500 (448)	レニショー <sup>(株)</sup> RESOLUTE	-
SF050	0.05	250 (224)	500 (448)		
SG050	0.05	250 (224)	500 (448)		

備考1. ( ) 内の値はTX320M及びTX420Mに適用します。

2. 実際の最高速度は負荷条件などに応じて変わります。

3. 付属のリニアエンコーダ信号変換ユニットは、分解能ごとに形番が設定されているため、分解能の変更はできません。

表10 リニアエンコーダなしの場合の最高速度

モータの種類	形式と大きさ	最高速度 mm/s	
		リード 5mm	リード 10mm
ACサーボモータ	TX120M	250	500
	TX220M		
	TX320M	224	448
	TX420M		
ステッピングモータ	TX120M	150	300
	TX220M		
	TX320M		

備考 二軸仕様のテーブルは、各軸とも単軸仕様のテーブルと同一です。

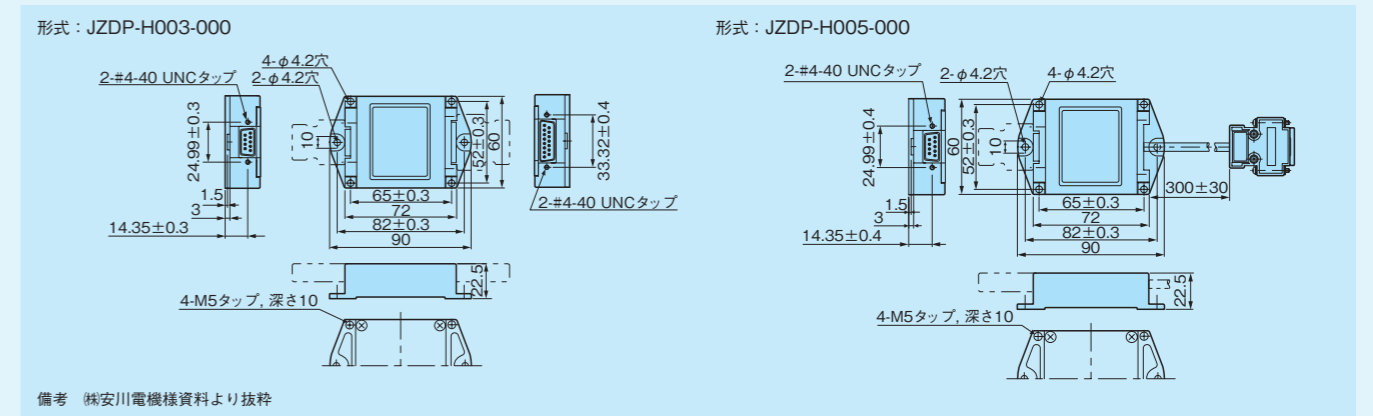
表11 リニアエンコーダの仕様

項目	内容				
	LIF181R	TONiC	VIONiC	RESOLUTE	
形式	LIF181R	TONiC	VIONiC	RESOLUTE	
メーカー	ハイデンハイン <sup>(株)</sup>	レニショー <sup>(株)</sup>			
スケール本体材質	ガラス	低膨張性ニッケル合金			
線膨張係数	/C	8×10 <sup>-6</sup>	0.75±0.35×10 <sup>-6</sup>		
精度等級	μm/m	±1	±1	±1	
出力タイプ		±1	±1	±1	
信号周期	μm	4	20	20	
最大走査速度	m/sec	4	10	12	
コード長さ	m	3	3	3	
コード径	mm	φ4.5	φ4.25±0.25	φ4.25±0.25	φ4.7±0.2
コード屈曲半径	mm	可動時：50以上	可動時：20以上	可動時：30以上	可動時：20以上
		固定時：10以上	固定時：10以上	固定時：10以上	固定時：10以上

表12 株式会社川電機用シリアル変換ユニットの仕様

項目	内容	
	ハイデンハイン <sup>(株)</sup> LIF181R	レニショー <sup>(株)</sup> TONiC
リニアエンコーダ	ハイデンハイン <sup>(株)</sup> LIF181R	レニショー <sup>(株)</sup> TONiC
シリアル変換ユニット形式	JZDP-H003-000	JZDP-H005-000
信号分解能	入力二相正弦波ピッチの1/256	
最高応答周波数	kHz	
大きさ	mm	
質量	kg	

備考 シリアル変換ユニットとドライバを接続するケーブルはお客様でご用意ください。



備考 株式会社川電機様資料より抜粋

表13 パナソニック<sup>(株)</sup>・三菱電機<sup>(株)</sup>用リニアエンコーダ信号変換ユニットの仕様

項目	内容						
	ハイデンハイン <sup>(株)</sup>			ハイデンハイン <sup>(株)</sup>			
リニアエンコーダ形式	IBV 3171 [5F,10F] 0.22μs			IBV 3271 [20F,25F,50F,100F] 0.22μs			
信号分解能	入力二相正弦波ピッチ÷4通倍÷電子分割倍率F						
最高応答周波数 <sup>(1)</sup>	kHz	5F : 200	10F : 200	20F : 100	25F : 80	50F : 40	100F : 20
大きさ	mm	変換器部 : 50×41×16					
		コネクタ部 : 48×42×17					
		コード長さ : 1000					
質量	kg	0.13					

備考 信号変換ユニットとドライバを接続するケーブルはお客様でご用意ください。

表14 最大搭載質量

形式と大きさ	ボールねじのリード mm	搭載質量の重心位置 mm		最大搭載質量 kg							
		高さ寸法 H	長さ寸法 L	水平方向				垂直方向			
				0	100	200	300	0	100	200	300
TX120M	5	0		254	97	57	40	28	28	28	28
		100		254	96	57	40	28	28	28	28
		200		254	95	56	40	28	28	28	28
		300		233	92	56	40	28	28	28	26
	10	0		154	76	44	31	28	28	28	28
		100		154	74	44	31	28	28	28	27
200			154	70	43	31	28	28	28	24	
TX220M	5	0		382	263	167	123	30	30	30	30
		100		382	261	167	122	30	30	30	30
		200		382	258	166	122	30	30	30	30
		300		382	254	165	122	30	30	30	30
	10	0		187	187	131	96	29	29	29	29
		100		187	187	130	95	29	29	29	29
200			187	187	127	94	29	29	29	29	
TX320M	5	0		536	536	536	473	27	27	27	27
		100		536	536	536	472	27	27	27	27
		200		536	536	536	471	27	27	27	27
		300		536	536	536	469	27	27	27	27
	10	0		254	254	254	254	25	25	25	25
		100		254	254	254	254	25	25	25	25
200			254	254	254	254	25	25	25	25	
TX420M	5	0		519	519	519	519	10	10	10	10
		100		519	519	519	519	10	10	10	10
		200		519	519	519	519	10	10	10	10
		300		519	519	519	519	10	10	10	10
	10	0		237	237	237	237	8	8	8	8
		100		237	237	237	237	8	8	8	8
200			237	237	237	237	8	8	8	8	
		300		237	237	237	237	8	8	8	8

備考1. 最大搭載質量は、モータ回転数3000min<sup>-1</sup>、加減速時間0.2sで連続運転した時に直動案内機器、ボールねじまたはベアリングの定格寿命が18000時間になる質量、および直動案内機器の基本静定格荷重を基準に算出した質量を考慮した値です。  
2. 選定時はⅢ-19ページの最大可搬質量も併せてご確認下さい。

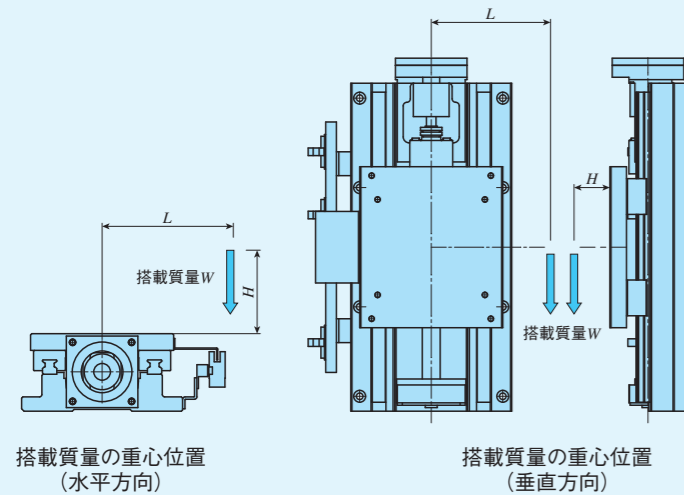


表15 直動案内内部の仕様

形式と大きさ	基本動定格荷重 <sup>(1)</sup> C N	基本静定格荷重 <sup>(1)</sup> C <sub>0</sub> N	配置			
			L mm	ℓ mm	Y <sub>d</sub> mm	Z <sub>d</sub> mm
TX120M	6 120	10 400	88	82	0	2
TX220M	11 500	20 000	157	145	0	1
TX320M	32 100	56 300	240	210	0	6
TX420M	38 200	70 300	300	290	0	0

注<sup>(1)</sup> スライドユニット1個当たりの値です。  
備考 二軸仕様のテーブルは、各軸とも単軸仕様のテーブルと同一です。

表16.1 ボールねじの仕様1

形式と大きさ	ボールねじの種類	リード mm	ねじ外径 mm	軸方向すきま mm	基本動定格荷重 C N	基本静定格荷重 C <sub>0</sub> N
TX120M	研削ねじ	5	15	0	7 070	12 800
		10			7 070	12 800
TX220M	研削ねじ	5	20	0	8 230	17 150
		10			10 900	21 700
TX320M	研削ねじ	5	25	0	16 700	43 500
		10			15 800	32 700
TX420M	研削ねじ	5	25	0	16 700	43 500
		10			15 800	32 700

備考 二軸仕様のテーブルは、各軸とも単軸仕様のテーブルと同一です。

表16.2 ボールねじの仕様 2

形式と大きさ	ストローク長さ		ねじ外径	全長
	mm	mm		
TX120M	100	150	15	256
	200	250		306
	300	350		356
	400	450		406
	500	550		456
TX220M	150	200	20	370
	250	300		420
	350	400		470
	450	500		520
	550	600		620
TX320M	300	400	25	616
	400	500		716
	500	600		816
TX420M	500	600	25	916
	600	700		1 016
	800	900		1 216

単位 mm

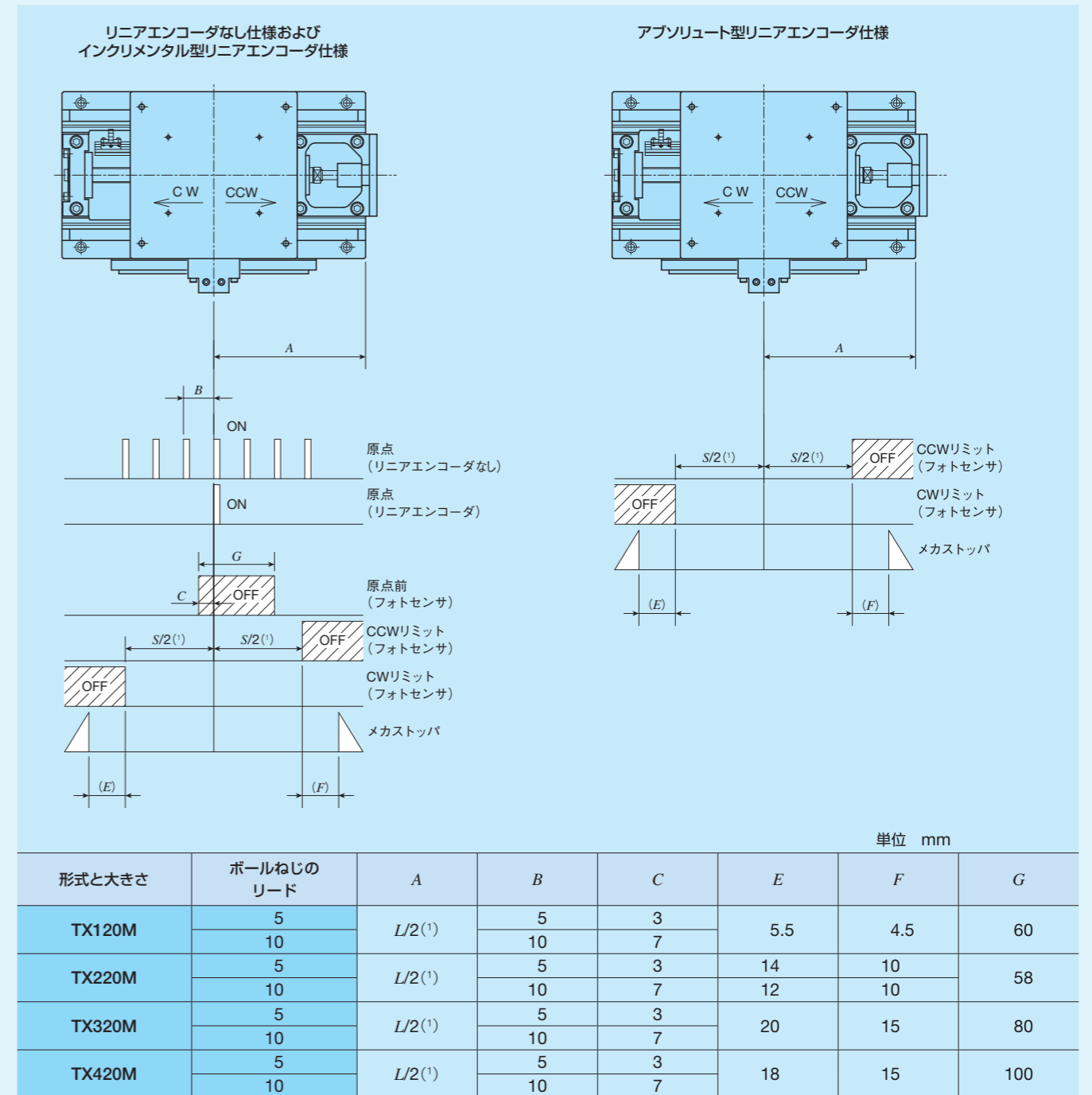
表17 テーブルイナーシャと起動トルク

形式と大きさ	ストローク長さ mm		テーブルイナーシャ $J_T$ $\times 10^{-5} \text{kg} \cdot \text{m}^2$		カップリング イナーシャ $J_C$ $\times 10^{-5} \text{kg} \cdot \text{m}^2$	起動トルク $T_s$ N·m	
	X軸	Y軸	リード 5mm	リード 10mm			
単軸仕様	TX120M	100		1.3	1.8	0.29	0.07
		150		1.5	2.0		
		200		1.6	2.2		
		250		1.8	2.4		
		300		2.0	2.6		
	TX220M	150		5.2	7.0	0.85	0.12
		200		5.8	7.6		
		250		6.4	8.2		
		300		7.1	8.8		
	TX320M	300		20	26	0.85	0.26
		400		23	29		
		500		26	32		
TX420M	500		30	39	0.85	0.30	
	600		33	42			
	800		39	48			
二軸仕様	CTX120M	100	100	2.1	4.7	0.29	0.07
		200	100	2.4	5.1		
		200	200	2.5	5.8		
		300	200	2.9	6.2		
	CTX220M	200	200	8.2	16.9	0.85	0.13
		300	200	9.5	18.1		
		300	300	9.8	19.3		
		400	300	11.0	20.5		

備考 二軸仕様のテーブルは、X軸の値を示します。Y軸の値は単軸仕様のテーブルをご参照ください。

## センサの仕様

表18 センサのタイミングチャート



注(1) II-160~II-165ページの寸法表をご参照ください。

備考1. 各センサの詳細仕様については総合解説のセンサ仕様の項をご参照ください。

2. 二軸仕様のテーブルは、各軸とも単軸仕様のテーブルと同一です。

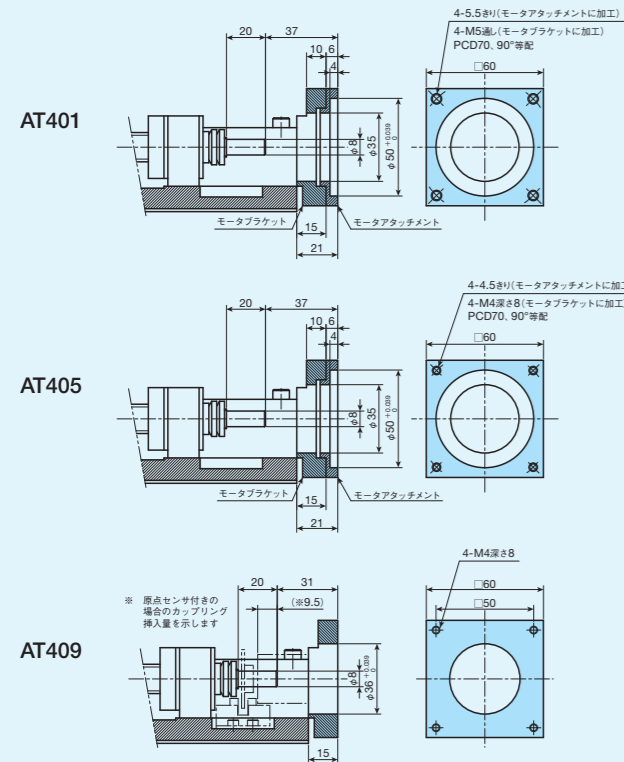
3. リニアエンコーダのカウント増加方向はCCW方向です。

## 取付け

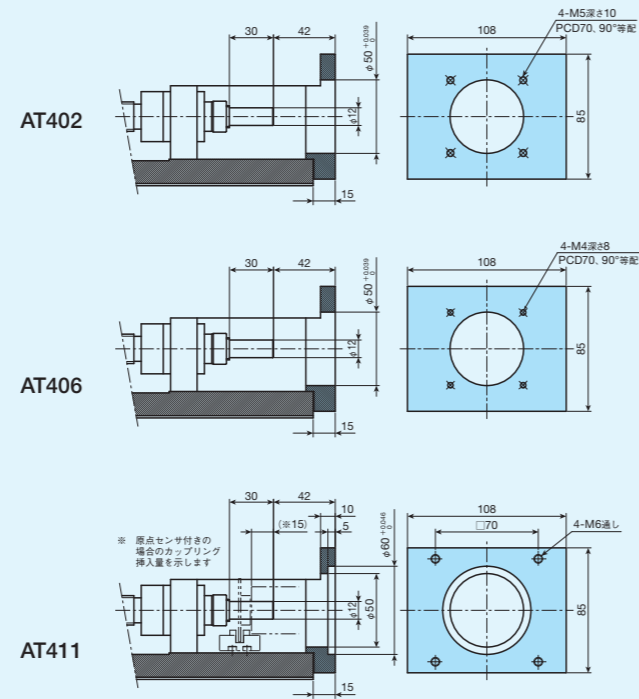
精密位置決めテーブルの取付面の加工精度や固定ねじの締付トルクについては、III-35~III-36ページをご参照ください。

# モータアタッチメントの寸法

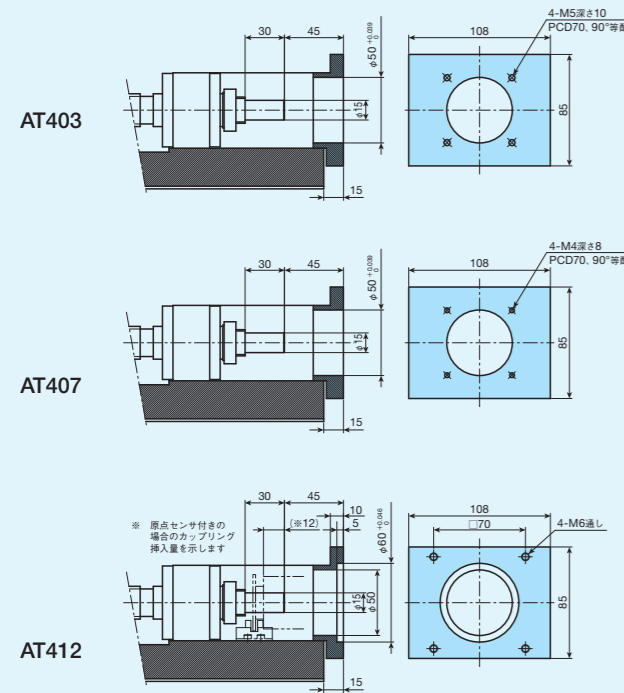
## TX120M、CTX120M



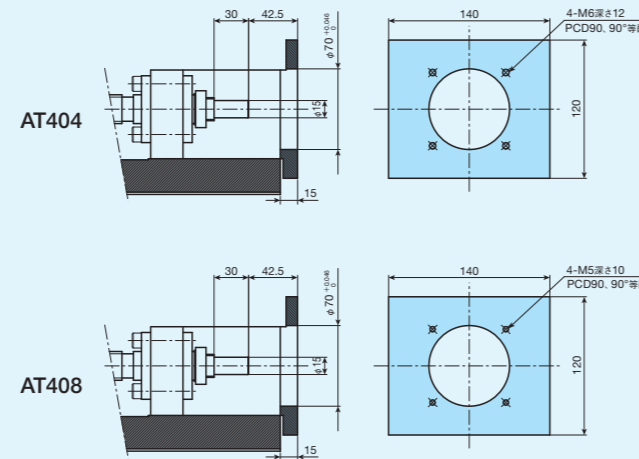
## TX220M、CTX220M



## TX320M

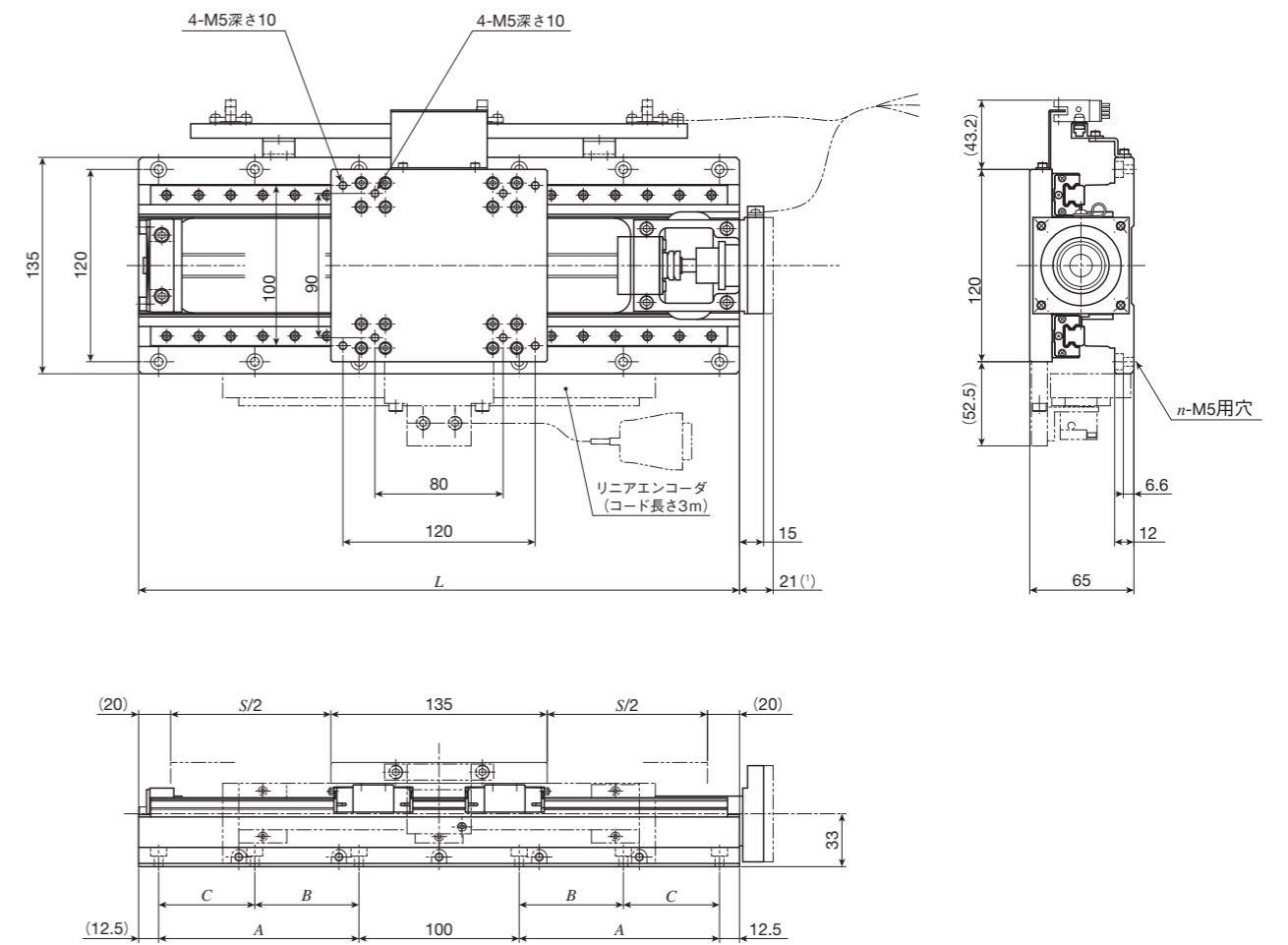


## TX420M



# IKO 高精度位置決めテーブルTX

## TX120M



単位 mm

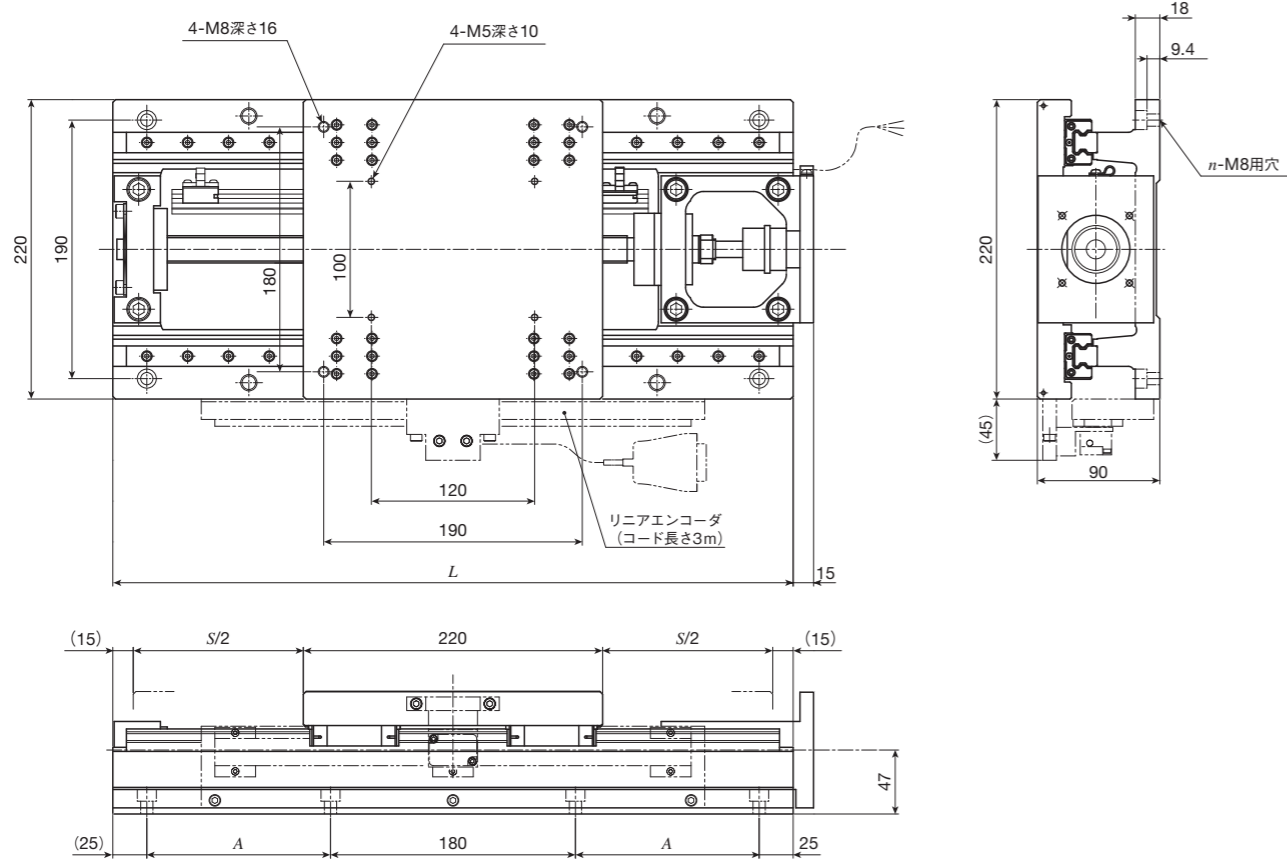
呼び番号	ストローク長さ S	全長 L	ベッド取付穴				質量 (参考) kg
			A	B	C	n	
TX120M-100	100	275	75	-	-	8	12
TX120M-150	150	325	100	-	-	8	13
TX120M-200	200	375	125	-	-	8	14
TX120M-250	250	425	150	75	75	12	16
TX120M-300	300	475	175	100	75	12	17

注(\*) AT401、AT405に適用します。



# IKO 高精度位置決めテーブルTX

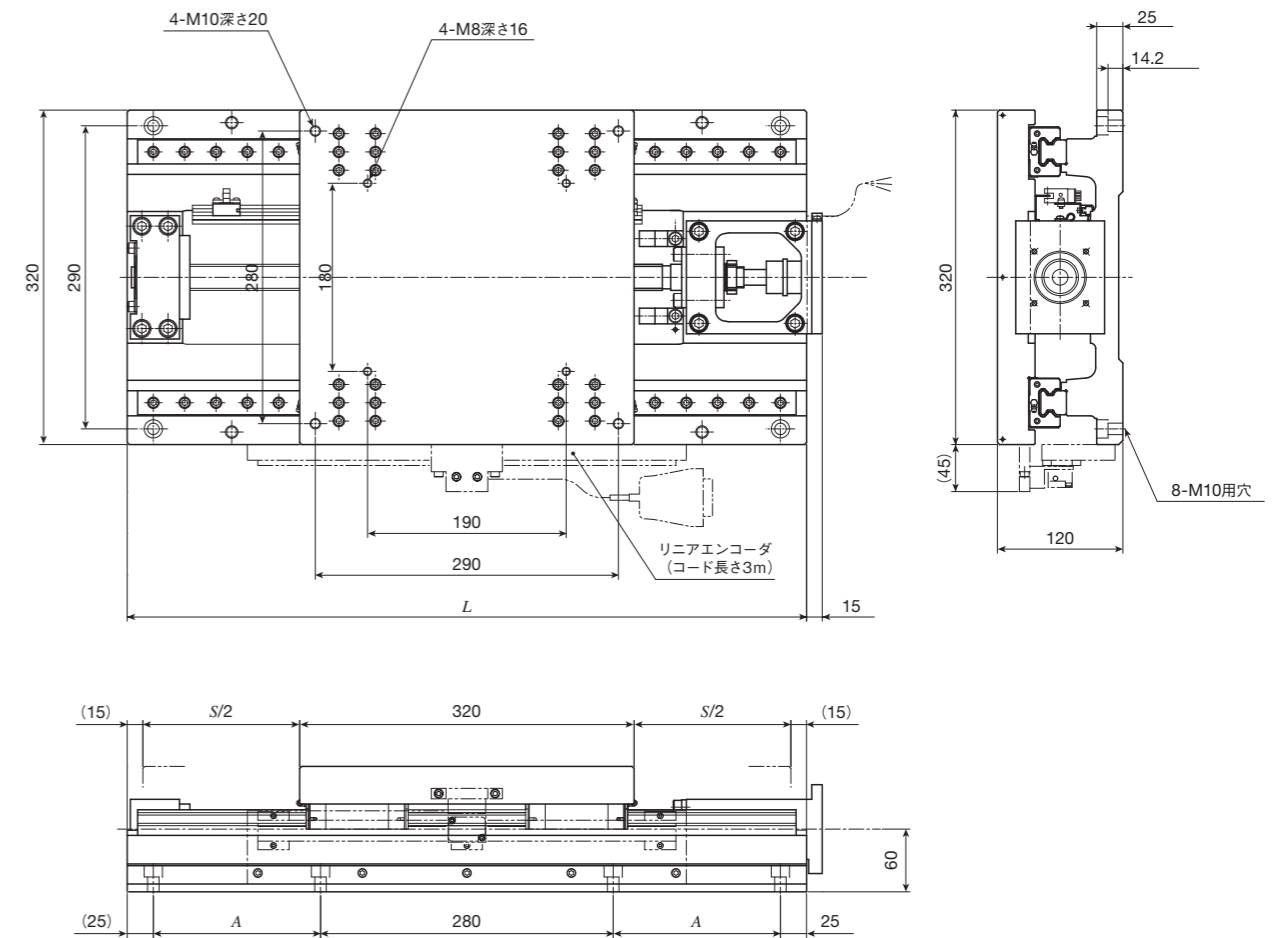
## TX220M



単位 mm

呼び番号	ストローク長さ S	全長 L	ベッド取付穴		質量 (参考) kg
			A (個数×ピッチ)	n	
TX220M-150	150	400	85	8	34
TX220M-200	200	450	110	8	37
TX220M-250	250	500	135	8	39
TX220M-300	300	550	160	8	42
TX220M-400	400	650	210 (2×105)	12	47

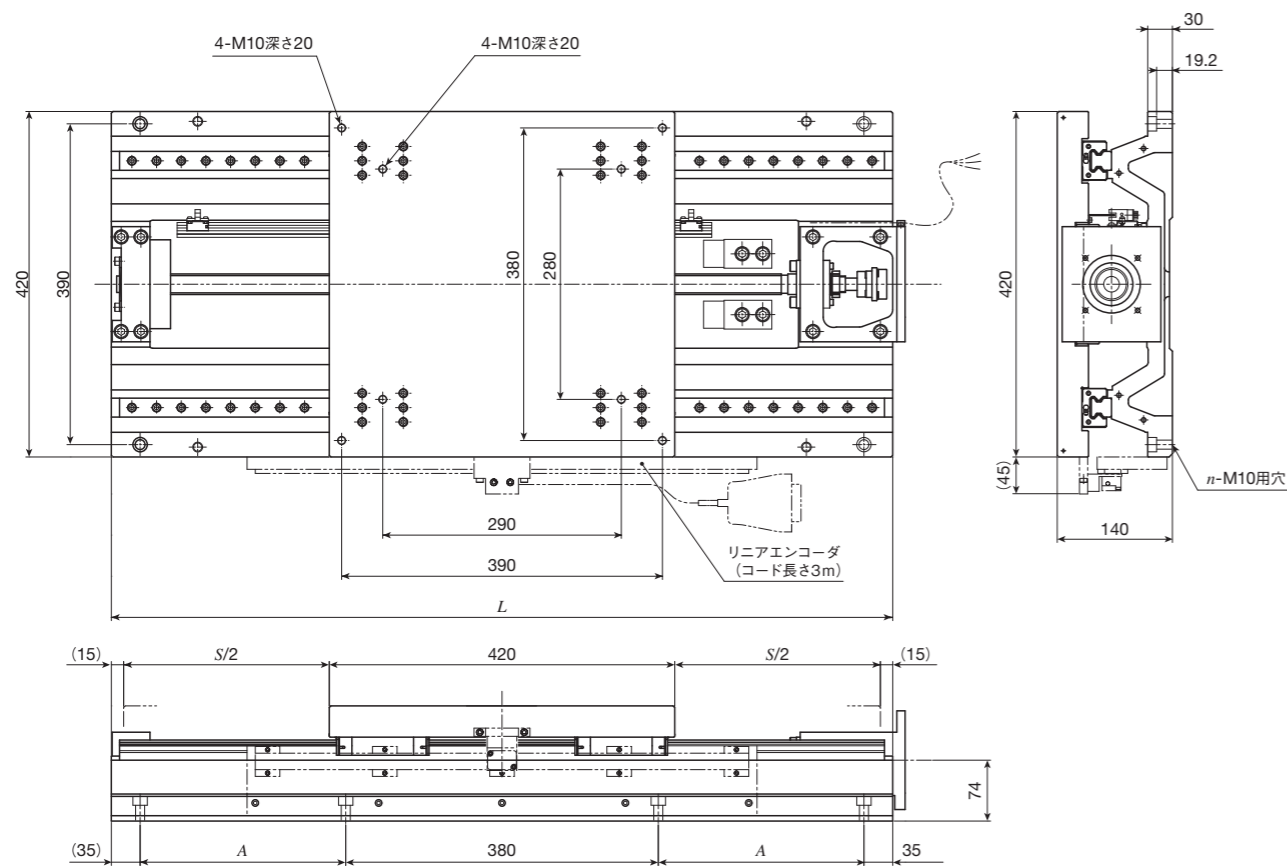
## TX320M



単位 mm

呼び番号	ストローク長さ S	全長 L	ベッド取付穴		質量 (参考) kg
			A	n	
TX320M-300	300	650	160	8	104
TX320M-400	400	750	210	8	115
TX320M-500	500	850	260	12	124

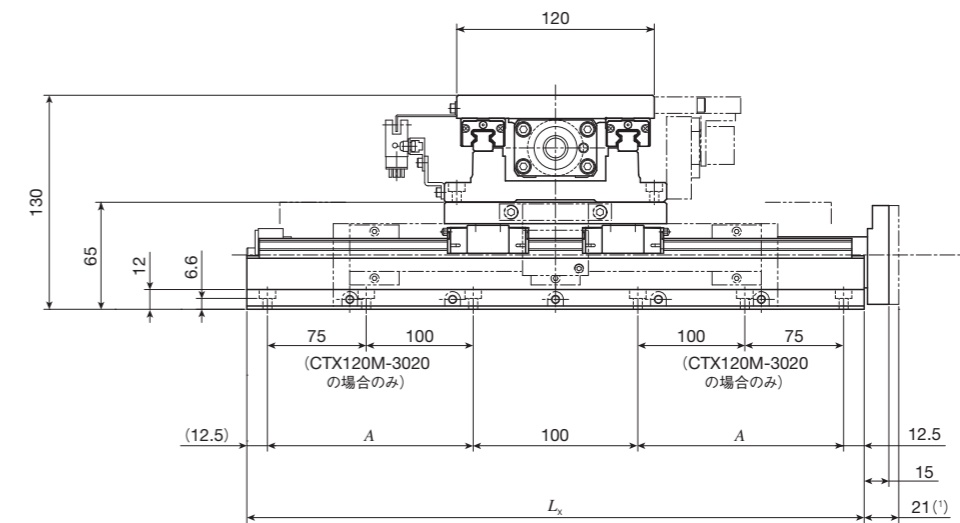
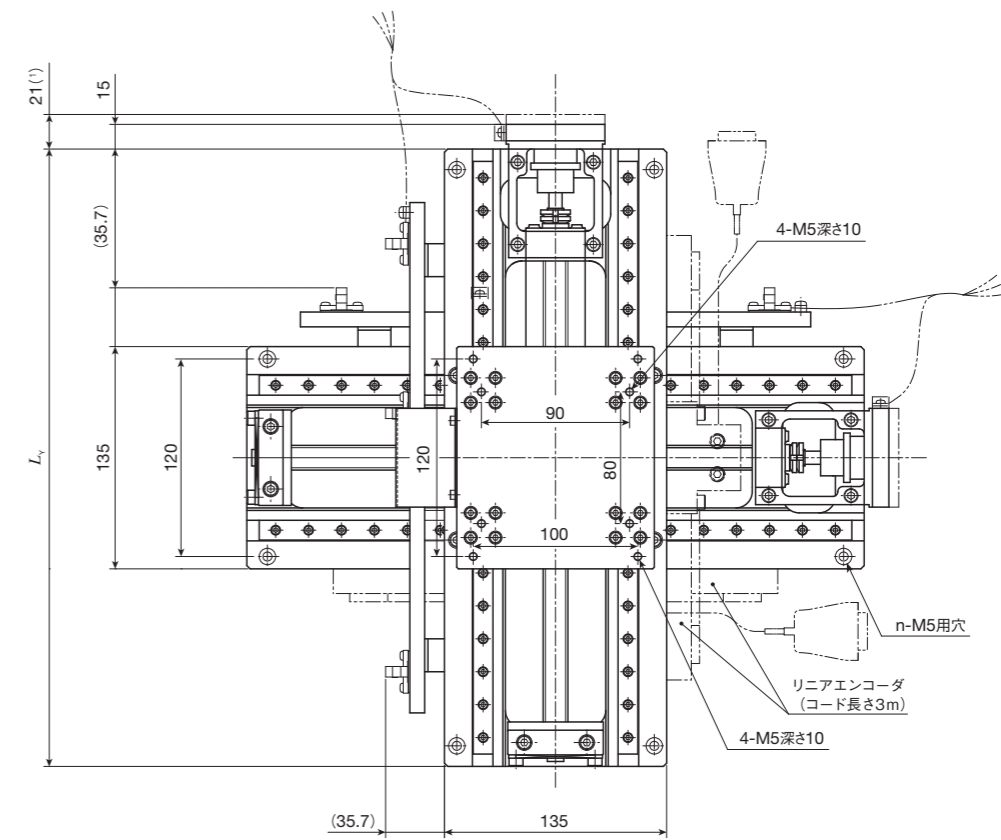
## TX420M



単位 mm

呼び番号	ストローク長さ S	全長 L	ベッド取付穴		質量 (参考) kg
			A (個数×ピッチ)	n	
TX420M-500	500	950	250	8	183
TX420M-600	600	1 050	300	8	197
TX420M-800	800	1 250	400 (2×200)	12	223

## CTX120M



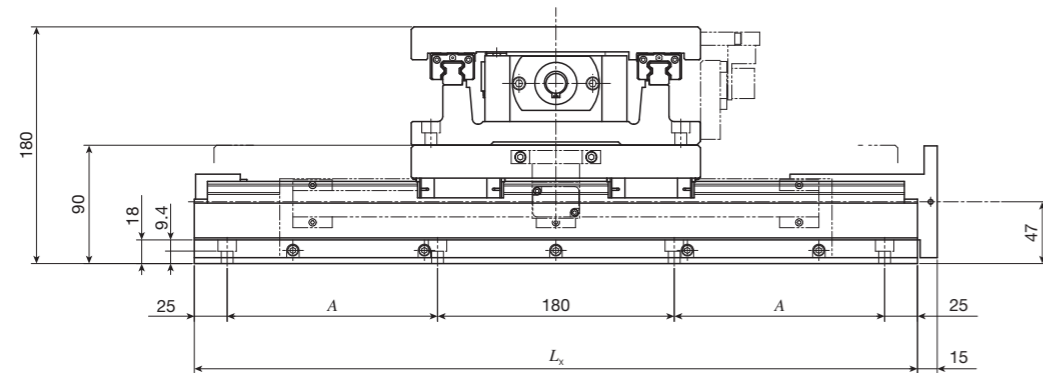
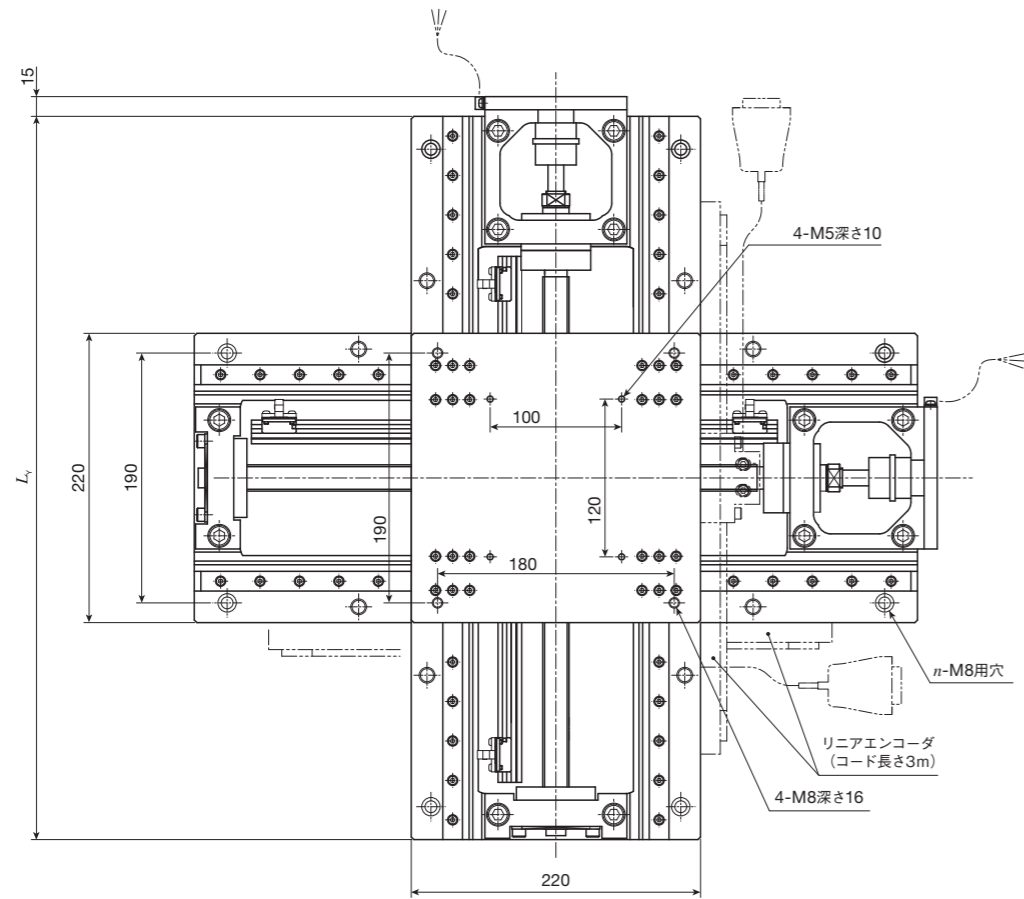
単位 mm

呼び番号	ストローク長さ S		全長		ベッド取付穴		質量 (参考) kg
	X軸	Y軸	L <sub>x</sub>	L <sub>y</sub>	A	n	
CTX120M-1010	100	100	275	275	75	8	23
CTX120M-2010	200	100	375	275	125	8	26
CTX120M-2020	200	200	375	375	125	8	28
CTX120M-3020	300	200	475	375	175	12	31

注(1) AT401、AT405に適用します。

備考1 上図CTXの組み合わせ方向は正方向です。

備考2 上記以外のストローク長さや、異なる大きさのテーブルの組合せ、ケーブルペア仕様の製作も可能ですので、IKOにお問い合わせください。



単位 mm

呼び番号	ストローク長さ S		全長		ベッド取付穴		質量 (参考) kg
	X軸	Y軸	L <sub>x</sub>	L <sub>y</sub>	A (個数×ピッチ)	n	
CTX220M-2020	200	200	450	450	110	8	73
CTX220M-3020	300	200	550	450	160	8	78
CTX220M-3030	300	300	550	550	160	8	83
CTX220M-4030	400	300	650	550	210 (2×105)	12	88

備考1 上図CTXの組み合わせ方向は正方向です。

備考2 上記以外のストローク長さや、異なる大きさのテーブルの組合せ、ケーブルベア仕様の製作も可能ですので、IKOにお問い合わせください。